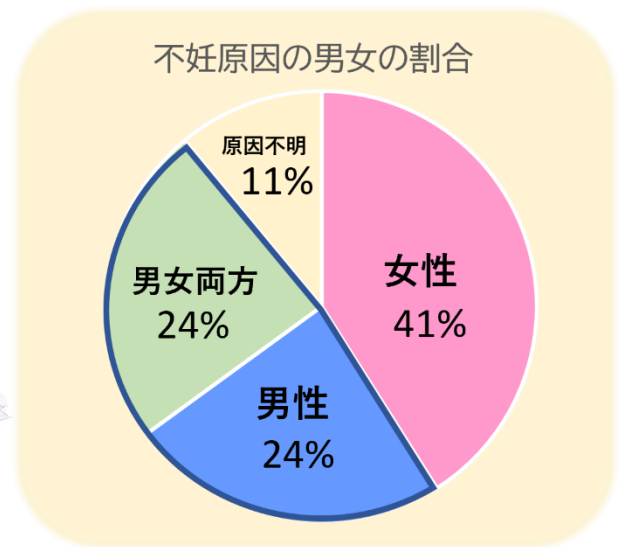
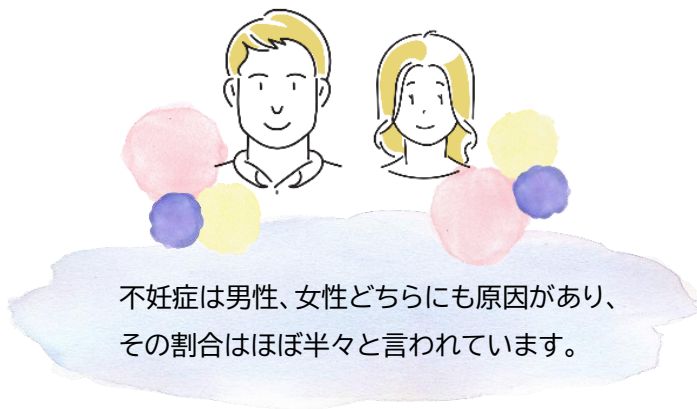


不妊クリニックから発信する

ソレイユプレコンセプションケア

プレコンセプション期(精子や卵子が完成し、受精し、着床するまでの期間)のカップルが健康であるほど妊娠が成立しやすくなり、胎児の発育もよくなることがわかっています。妊娠を望むときに妊娠ができる大切さを一緒に考えませんか？

現在 4.4 組に 1 組のカップルが不妊治療を受けており、不妊症は珍しくない疾患となっております。女性も男性も自身の妊娠する力を早目に知っておくことは、結婚前でも結婚後でも重要なことです。



女性の検査

☀ 経膈超音波検査

子宮や卵巣の状態を超音波で観察し、子宮筋腫や内膜症、卵巣の腫れなど妊娠に影響する所見は無いかを確認する検査です。

☀ 女性ホルモン検査

E₂(エストラジオール)、LH(黄体形成ホルモン)、FSH(卵巣刺激ホルモン)、PRL(プロラクチン)の女性ホルモン値を測定します。

卵巣予備能を判断するために重要な検査です。

加齢などにより卵巣機能の低下とともに LH、FSH が上昇することがあります。

PRL(プロラクチン)は乳汁分泌ホルモンと呼ばれます。高値の場合は不妊症の原因である、高プロラクチン血症の可能性があります。

☀ AMH 検査

AMH 検査は卵巣に残っている卵子の数を測る検査です。

AMH 値が高いとこれから育つ卵胞が卵巣内にまだたくさんある状態、値が低いと卵胞が少なくなっている状態です。

ご自身の AMH 値を知ることは、今後のライフプラン・キャリアプランを考えるにあたり、妊娠を急いだ方が良いのかどうかを判断する一つの目安になります。

☀ クラミジア検査

クラミジア感染症は卵管性不妊症の原因の 60%を占めるとされます。子宮頸管に感染した後
に卵管炎を起こし、卵管の狭窄や閉塞を起こします。

子宮卵管造影検査をご希望の方には必須の事前検査となります。

☀ 子宮卵管造影検査

女性不妊症の診断に用いられる検査で、自然妊娠が望めるかを確認する上で必須の検査です。卵管が狭窄していたり、閉塞していた場合も当院で卵管鏡下卵管形成術(FT)で修復が可能です。

当院の子宮卵管造影検査は、痛みの少ないカテーテルを使用し、透視下にて短時間で行う事を心がけています。

男性の検査

☀ 精液検査

不妊症の原因は女性と男性で割合が半々と言われています。

採精容器に精液を採取していただくだけで検査は終了です。院内採精室は 2 つ完備しておりますので、初診当日に検査が可能です。

プレコンセプションケア検査は自費診療ですが、自治体によっては、不妊検査費に助成制度を設けています。

宮城県不妊検査助成事業は、不妊症の診断のために医師が必要と認めた検査を夫婦で受けた場合、夫婦 1 組につき最大で 3 万円の助成が受けられます。

助成事業を利用するには、婚姻関係(事実婚も含む)や妻の年齢(43 歳未満)、居住地などいくつかの要件を満たす必要があります。

詳細はお住まいの自治体の HP を参考にして下さい。